

赤城山北西面地域のヤマネ生息調査

群馬県野生動物研究会

ヤマネ *Glirulus Japonicus* は、本州、四国、九州の山地に生息するネズミ目ヤマネ科の日本固有種で、国の天然記念物であり、群馬県では準絶滅危惧種(群馬県2012)に指定されている。頭胴長は68~84mm、尾長44~54mm、体重は夏で14~20g、秋には34~40gになる。背中には明瞭な黒い縦線があり冬眠をする。群馬県では標高約800~2300mの森林に生息しているが分布は明らかでなく記録や報告は少ない。群馬県野生動物研究会は2013年4月から2015年12月までの3年間と、2018年4月から2020年12月までの3年間、計6年にわたり赤城山北西面(渋川市赤城町深山)地域で巣箱によるヤマネの生息、生態に関する調査を実施した。調査方法として、ヤマネは捕獲が困難で、かつ、夜行性であり日中の観察が難しく、普段は休息や営巣場所として樹洞を使用しているため、樹洞と同様に利用できる巣箱を、調査地内8か所に150個設置して定期的に見回り、利用状況を記録した。設置は4月から12月までとして、設置場所は前年と比較するため同一場所とした。なお、本調査は現在も継続中である。また、ヤマネは天然記念物のため、マーキングが出来ず頭数に重複がある。

表1 年度別ヤマネ確認数 2013年~2015年

地区	巣箱数	2013年	2014年	2015年	計	
A	30	6 【2】	5 ⑤ 【1】	11 ⑪ 【1】	22 ⑯ 【4】	42
B	20	3 ④	5 ⑧	7 ⑥ 【1】	15 ⑱ 【1】	34
C	10	4 ⑧	3 ⑥ 【1】	5 ⑮ 【2】	12 ⑲ 【3】	44
D	10	3 【3】	4 【2】	10 ⑥ 【6】	17 ⑥ 【11】	34
E	10	1 【1】	5	4 【2】	10 【3】	13
F	10	4 ③	5 ⑤-1 【3】	1 【3】	10 ⑧-1【6】	24-1
G	10	1 【1】	2 ③	1 【1】	4 ③ 【2】	9
H	50	16 ⑧ 【3】	11 ⑥ 【3】	9 ⑪ 【2】	36 ⑳ 【8】	69
計	150	38 ㉓ 【9】	40 ㉓ 【11】	48 ㉑ 【18】	126 ⑩⑤【38】	269-1
合計		70	84	115	269-1	

表2 年度別ヤマネ確認数 2018年~2020年

地区	巣箱数	2018年	2019年	2020年	計	
A	30	11 ④ 【3】	6 ② 【1】	3 ② 【3】	20 ⑧ 【7】	35
B	20	9 ②	6 ② 【3】	4 【1】	19 ④ 【4】	27
C	10	9	11	2 ②	22 ②	24
D	10	4 ②	1 ④ 【5】	2 【1】	8 ⑥ 【6】	20
E	10	1 【3】	6	3 ③	10 ③ 【3】	16
F	10	3 ②	4 ③	2 ②	9 ⑨	18
G	10	3	6 【3】	7 ⑦ 【2】	16 ⑦ 【5】	28
H	50	12 ④ 【3】	12 ⑨	9 ⑧ 【2】	33 ㉒ 【5】	59
計	150	52 ⑭ 【9】	52 ⑳ 【12】	32 ㉒ 【9】	137 ⑥⑩【30】	227
合計		75	84	65	227	

※ 数字は成獣 ○数字は幼獣 【】は冬眠数 —は死亡個体数